

2005年1月
オーストラリア!

デフリンピックへ!

野中好夫

デフリンピック! それは聴覚障害者のオリンピック

2005年1月のメルボルン大会からオリエンテーリングが開催される。

多摩 OL の野中好夫が選手として参加する。

デフリンピックとは?

「デフリンピック」とは、4年に1度おこなわれる「聴覚障害者のオリンピック」です。以前は「世界ろう者競技大会」と呼ばれていましたが、2001年5月に国際オリンピック委員会(IOC)の承認を得て「デフリンピック」に改称されました。

聴覚障害者の国際的なスポーツ組織である国際ろう者スポーツ委員会(CISS)が主催しています。CISSは1924年に設立され、障害者のスポーツ組織としては世界で最初に設立された伝統ある組織で、近い将来「国際デフリンピック委員会」に改称されることが2003年に決議されています。

デフリンピックには夏季大会と冬季大会があり、夏季大会は1924年にフランスで第1回大会が開かれ、冬季大会は1949年に第1回大会がオーストリアで開催されています。日本選手団は、夏季大会には1965年(アメリカ)から、冬季大会には1967年(旧西ドイツ)から参加しています。

前回の第19回大会(イタリア・ローマ)には81カ国から約4000人が参加しました。来年1月にオーストラリアのメルボルンで開催される第20回デフリンピック(夏季大会)は、前回大会を上回る過去最大規模の大会となることが見込まれています。《日本聴覚障害者新聞2004年8月1号より抜粋》

第20回デフリンピック公式サイト
<http://2005deaflympics.com/>

オリエンテーリングも種目に

第20回デフリンピック派遣日本代表選手団は、団長の田口博人(日本ろう者スポーツ協会会長)をはじめ、役員、

医者、手話通訳者、そして水泳、卓球、テニス、バドミントン、ボウリング、陸上、オリエンテーリング、バスケットボール、バレーボール、サッカーの選手ら総勢130名位が12月31日の第一回出発につづけて1月1日、2日に出国します。

オリエンテーリング競技種目はデフリンピックに取り入れたばかりの種目で年齢無制限男女別クラスのみです。男子クラスには43名、女子クラスには27名のエントリーが予想されています。

今大会のテラインはメイン会場のベルリンから車で60分のところにある、かつてゴールドラッシュに沸いた金鉱の街であるバララットです。おそらく採金で複雑になった地形で行われるのではないかと予想しています。

会期(1/5~1/16)中、オリエンテーリング競技の日程は次の通り。

1月9日

Sprint Event (Mens&Women)

前大会は4キロ

1月11日 Long Event (Mens&Women)

前大会は12キロ

1月13日

Relay Event (Mens&Women)

(男女別3人リレー)

日本からは初めて、唯一のろう者オリエンティアの野中好夫(多摩OL)が派遣します。1人しかいないので、リレーは参加しません。

参加の悩み

野中は、今回のデフリンピック派遣内定通知があったとき、年齢的にデフリンピックでの成績については自信が無かったので悩みました。

デフリンピックも一般の大会と同様に欧州勢が強豪です。

村越真さんへ相談したところ、『結果はともあれ、後世の為に一歩進んでやって欲しい』というメールを頂いて決心しました。

精一杯参加して、ろう者向け大会は一般の大会とどういふところが違うのかを可能限りレポートして報告したいと思います。

ドーピングも聴力検査もありますので十分に留意して行きたいと思います。

マネージャ募集!

コーチもマネージャもない野中1人では大変なのでボランティアがいれば10万円補助で1名募集したいと考えています。

但し、現地(メルボルン)で1/9の前日まで交流し、1/13に解散という日程を含むことが出来て海外旅行歴のある方でろう者と付き合い経験がある方を希望します。ご協力頂ける方は早めに野中までFAX連絡をお願いします。(FAX番号:042-589-7191)

(野中好夫)



東日本大会宿案内

三河高原
オートキャンプ・
バンガロー

朝霧荘

0564-86-3530